

中小企業あきた

1	FOODEX JAPAN 2019.....	1
	～秋田県ブースへの出展事業者を支援～	
2	秋田県印刷工業組合理事長を訪問.....	2
	～今年度の活動方針をお聞きしました～	
3	日本銀行吉濱秋田支店長と県内景況について懇談.....	3
	～吉濱支店長の特別寄稿～	
○	景況レポート2月分.....	4
○	中小企業組合等支援施策情報.....	6
○	組合相談コーナー.....	6
○	話題の広場	
	中央会事業より.....	7
	支援団体活動レポート.....	7
	アラカルト.....	8
	インフォメーション.....	8



TOPICS 1 FOODEX JAPAN 2019

トピックス SPECIAL FEATURES

～秋田県ブースへの出展事業者を支援～



[秋田県ブース]

本会では、県内の食品事業者を対象に販路開拓やビジネスマッチングの機会を創出するための事業を実施しています。

3月5日(火)から8日(金)まで幕張メッセ(千葉県)で開催された日本最大の食品展示会「FOODEX JAPAN 2019」において秋田県ブースでの出展支援を行いました。

出展にあたって、本会が企画・運営全般を担い、秋田県、秋田県信用保証協会、秋田県信用組合、秋田銀行、秋田市、秋田商工会議所、秋田県商工会連合会、あきた食品振興プラザと合同で大規模な秋田県ブースを設置し、県内24の食品関連事業者が自社の販路拡大のため、汗を流しました。

期間中は、輸入・卸売業者、小売業者等のバイヤーなど国内外から前年比で11%上回る80,000余名が来場し、会場では熱を帯びた商談が繰り広げられました。

ブース内は、支援機関の職員による呼び込みや「なまはげ」が活躍したことで、溢れかえる

賑わいをみせ、ひっきりなしに人が訪れるなど、大盛況のうちに終わることができました。

出展事業者の声

秋田活性化株式会社(秋田市)

単体で出展した場合と比較してより多くのバイヤーの立ち寄りを感じられた。今回はスタッフ1名での出展だったため、ブース事務局の支援を受けられたことはとてもありがたかった。期間中は有力な商談先があったことから成約できるようしっかり対応していきたい。

有限会社鼎屋(男鹿市)

日常の営業活動では見つけれないような商談先を見つけることができた。名刺配布は期待度の高い先を中心に行い、期間中は60件の商談があり、期間中、1件の成約があったが、フォローすべき先は多岐に渡ることから、12日から本格的にフォローしたい。今回の出展は成果が大きく、来年も出展できるように活動していきたい。



[ブースでのなまはげ]

株式会社鈴木水産(八峰町)

秋田県ブーススタッフによる積極的な呼び込みのおかげで、想定以上に来訪者が多かった。今回の出展では、こちらから積極的に名刺は配布せず、商談候補を厳選して対応した。結果として4日間で32件の商談があり、即日礼状を送付した。現在、バイヤーは来期冬商戦の商品を吟味しており、夏向けである本商品は時期を見計らって攻勢をかけていく予定である。また、スペインブースにて名刺交換した出展事業者より新商品のアイデアをいただくことができ、販路拡大のみならず商品開発についても有益な展示会であった。

有限会社みちのくアトリウムプラン(秋田市)

テンペを出展し、名刺交換枚数は2日間で12枚であった。テンペの認知度が低く、市場自体が成熟していない商品であるため、来場者からは「そもそも、どのような商品か」といった質問の声が多数あり、説明と試食のみで立ち去る来場

者が多かった。その一方、名刺交換した企業は、テンペという商品や味などを認知しており、見積及びサンプルの依頼が多数あったことから機会損失にならないよう早急に対応したい。



[商品説明]

みちこの手づくり 白神乃味(秋田市)

大規模な展示会への参加は初めてで、秋田市から採択された際は不安でいっぱいであった。しかし、ブラッシュアップ支援を受けたことで、パンフレット作成支援や会期中の流れ、商談会シートの作成など不安要素が取り除かれ、会期中はトラブルなく終えることができ、満足している。会期中は数社から見積依頼やサンプル発送の依頼があり、対応を行うことにしている。また、今後も商談や取引の可能性がありそのような企業に対しては、お礼状の送付を行う予定である。

出展した事業者は好感触を得ており、本会では引き続き、成約に向けたフォロー体制を充実していくこととしています。

TOPICS 2 秋田県印刷工業組合理事長を訪問

トピックス SPECIAL FEATURES

～今年度の活動方針をお聞きしました～

秋田県印刷工業組合(大門一平理事長)は、昭和32年6月設立に設立されました。組合員が100名を超えた時期もありましたが、現在は29名となっています。そこで、理事長に今年度の活動方針をお聞きしました。

昨年は、甲子園での金足農業高校の活躍が各方面に大きな影響を巻き起こし、全国に秋田県存在を十分にアピールしてくれました。人口減少トップの中から地元出身の選手だけで勝ち進む姿は、秋田県民の持つ能力の高さを示すだけでなく、一戦ごとに成長することで多くの国民に感動と希望を与えてくれました。

本年は新天皇の即位により元号が変わり、新しい時代の到来に大きな期待をしているものの1月から実施された用紙の値上げは、メーカー各社がエンドユーザーに周知することもなく行われており、製造調整に努めているものの品薄によって年度替わりの時期に影響を及ぼしております。同時に政府が推し進める「働き方改革」は、人手不足が続く中で中小零細企業に経費・時間・人員の負担を強いており、事業承継問題への対応がままならない状況において、大企業とのさらなる格差を生み出すことが懸念されます。

このような環境の中で、都道府県単位の力でできることには限りがあり、全国印刷工業組合連合会との連携は非常に重要性を増していると考えます。「ハッピー インダストリー」をテーマに掲げた様々なプログラムを活用することで、時代の流れに乗り遅れることなく体質の強化を進めていただき、新しい時代に必要とされる会社経営を目指していただきたいと考えております。また、昨年実施した印刷営業講座は受講者の全員から「よかった」との評価をいただきました。人材の育成は業界の発展に欠かせないものと位置づけ、より役に立つセミナー等の実施に向け準備を進めてまいります。組合員より一層のご理解とご参加をお願い申し上げます。



[秋田県印刷工業組合大門理事長]

2月22日(金)、日本銀行秋田支店の吉濱久悦支店長が来所し、本会藤澤会長と県内中小企業の動向について懇談を行った際、話題となった「米中貿易摩擦が県内企業に与える影響」に関して、吉濱支店長から特別寄稿をいただきましたので掲載させていただきます。

米中貿易摩擦が 県内企業に与える影響

日本銀行 秋田支店長 吉濱 久悦



米中貿易摩擦の影響は、経営者にとって昨今の最大の関心事と思います。国際通貨基金による2019年の世界経済の成長率見通しは、3.5%です。成長率全体を100とした時の国・地域のウエイトは、中国18.2%、米国15.3%に続き、ユーロエリア・英国13.9%、日本4.3%等、米中経済の牽引力、存在感の大きさを如実に表しています。

こうした中、米中両国も含む海外経済の不確実性の高まりは、現時点で県内景気に大きなマイナスになっていないものの、製造業の一部に影響が出ています。具体的には、①国際商品市況の低迷により、製品価格の引下げを余儀なくされた、②スマートフォン向け部品、産業用機械等の中国向け輸出低迷による受注・生産の減少、③中国向け製品に関連した設備投資の取り止めなどです。

ただ、全てが米中貿易摩擦の影響かと言えば、答えはノーでしょう。これには様々な背景があります。まず、米中間の追加関税による影響を確認すると、対象品目にかかる米国の中国からの輸入の落ち込みは、米国は輸入で中国に依存する品目が多く、かつ関税引き上げ後も他国に比べて安い中国製品が多いため、大きなものにはなっていない様です。そのうえで、スマートフォンの不振は、製品サイクルと中国国内での普及進展による販売低迷を指摘できます。中国の小売売上高をみると、全体では安定して前年を上回っていますが、スマートフォンを含む通信機器と、過去の減税による駆け込み需要の反動がみられる自動車販売の減少が際立っています。これらの産業は部品等を輸入する割合が高く、中国の内需の弱さが輸入減少に繋がりがやすい業種です。さらに中国の産業構造の変化にも留意が必要です。名目GDPの産業別ウエイトは第3次産業が5割を超え、第2次産業を上回り、経済発展＝輸入増加になり難い状況になりつつあります。この間、中国政府は、内需拡大策として、環境対応した自動車・家電購入に対する補助など消費のアップグレード、公共サービスの改善計画といった、経済の質を高める方向性を打ち出しています。

今後とも海外経済の不確実性の高まりが企業の生産・収益・設備投資、個人消費等に与える影響を注視していく必要があります。一方、通商問題の陰に隠れがちな海外経済の姿、産業構造の変化等の冷静な分析を踏まえた、新たなビジネスチャンスを見出すことの重要性も高まっているように思います。

景況レポート

(2月分・情報連絡員80名)

製造業がさらに悪化 ～景況DI値は低調に推移～

【概況(全体)】

2月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが10.0%(前回調査8.8%)、「悪化」が37.5%(同37.5%)で、業界全体のDI値は-27.5となり、前月調査と比較し1.2ポイント上回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、製造業の景況DI値が低調だったことから、全体の景況DI値は全国及び東北・北海道ブロックを2ヶ月連続で下回る結果となった。

【業界別の状況】

鉄鋼・金属が引き続き好調を維持しており、小売業で好転割合が増加した。その一方、食料品や印刷では苦戦を強いられており、繊維工業でも悪化割合が増加した。

原材料価格の高騰や需要の停滞等により収益が悪化している業界が目立つなど、今後の業況については引き続き慎重に見極めていく必要がある。

<全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-27.5	-24.3	-26.9
製 造 業	-37.5	-26.0	-29.0
非製造業	-20.9	-23.0	-25.7

<景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種							
製造業							
非製造業							

【凡例】

快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 曇り △10以上 △30未満
 雨 △30以上 △10未満
 雷雨 △30以下

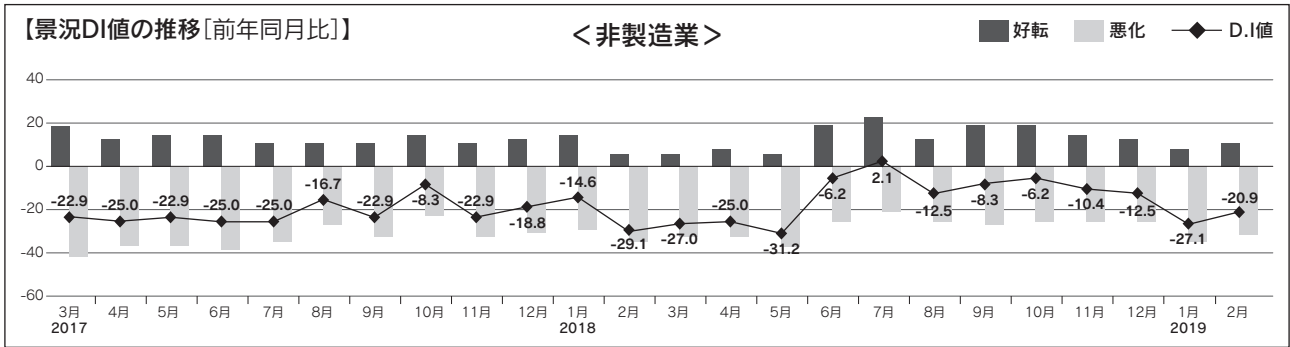
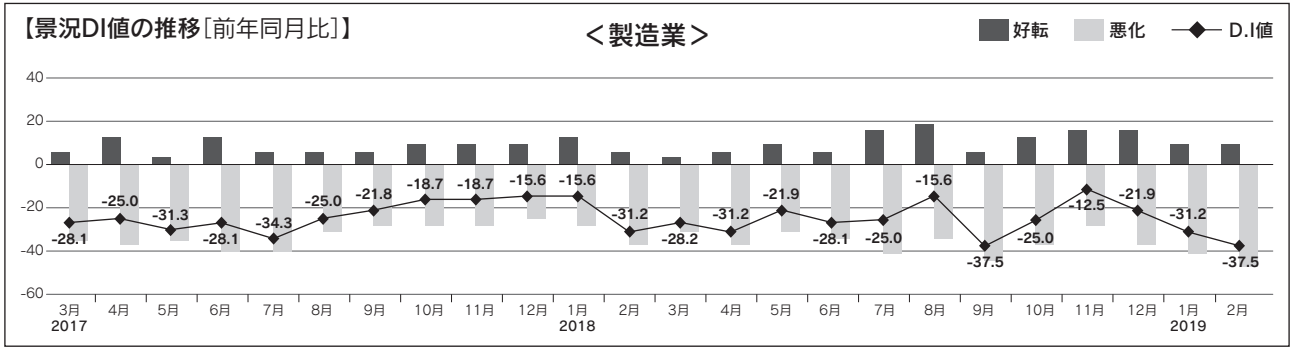
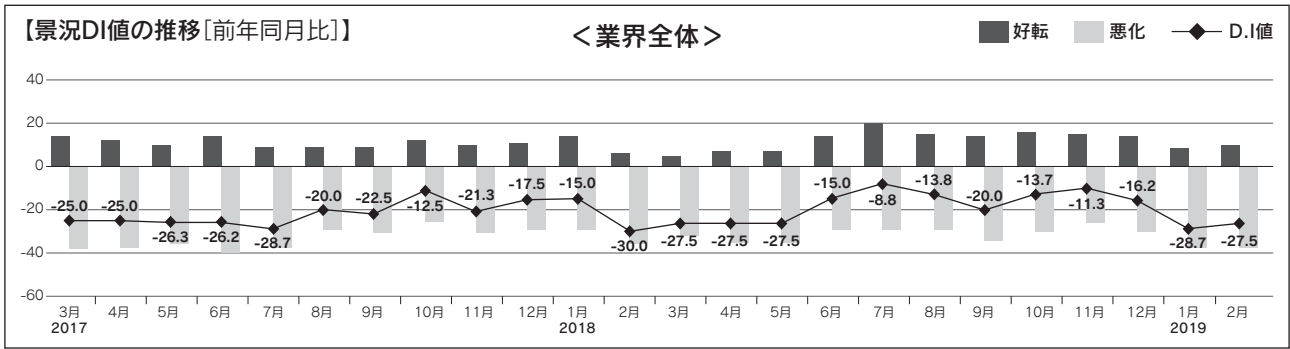
【天気図の見方】
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (豆腐)	業界全体が萎んでおり厳しい状況にある。秋田市内にある個人経営の豆腐屋が1件廃業予定であり、豆腐屋の減少が続いている。
食料品 (菓子)	原材料の仕入単価の上昇や個人消費の低迷など、厳しい状況が続いている。
繊維工業 (ニット)	夏物生産最盛期に入り各社とも昨年並みの受注は確保できている。しかし、相変わらず加工賃は上がらず、採算性の向上が難しい状況である。
木材・木製品 (一般製材)	冬場は県内需要が減少するが、関東方面からの注文は順調に推移している。しかし、2月1日からの製品の価格改定は据え置きのため、収益面は改善されていない。原木の出材量は1月～2月は増加傾向にあり、3月末の原木在庫は前年と同量を確保できる見込みとなっている。
木材・木製品 (家具)	秋田県内における需要は極めて少なかった。大都市圏域需要についても昨年と比較すると多くは発生しなかったようだ。年明け1～3月は、例年官公庁と学校等の家具什器の発注が必ず見られたが、秋田県においては木製機の需要が皆無となるなど、秋田市を含む各市町村とも教育施設家具什器の需要はここ7,8年で激減している。
印刷	印刷需要の点数・量とも回復をしていない。2月出荷分から用紙・諸材料の値上げが実施されたが、メーカーはエンドユーザーに周知しておらず、値上げ交渉が進まない状況で低価格発注の環境は是正されていない。(中央地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	2月の出荷数量は前年同月比114.8%となり、4月～2月累計では前年比120.6%となった。大館北秋地区では比内養護学校の建設工事により、出荷数量が単月で前年を大幅に上回ったが、依然として能代山本地区の出荷の伸びが鈍い。今年度の出荷数量は660,000m ³ 前後(前年比117%)と思われる。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	今年に入り受注が落ち込んできており、工場稼働率にバラツキが出ている。この先4～5月頃までは低稼働になるのではと多少不安な状況だが、見積は大小物件を問わず増加傾向にある。
その他の製造業 (漆器)	相変わらず顧客の減少が止まらない状況が続いている。関東での催事も昨年より売上が減少し、厳しい状況にある。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (自動車中古部品)	鉄単価が1トンあたり500円の上昇が6回あるなど、2月に入り国内の鉄価格が上昇している。
卸売業 (青果)	売上高は前年同月比88.2%で推移した。2月は関東を中心に農作物が順調に育ち、産地からの出荷が滞ることはほとんどなかった。潤沢な出荷量が影響してか、青果物の相場は安値相場が続伸し、組合員各社とも売上高が低迷している。
小売業 (自動車)	2月の新車販売台数は、登録自動車が2,027台(前年同月比99.6%)、軽自動車が1,854台(同91.9%)で、合計3,881台(同95.8%)だった。車種別では、小型貨物が伸びを見せ、軽自動車はトラックが不調だった。
小売業 (クレジット)	2月期の総取扱高は前年同月比110.0%となった。昨年と比較すると家電量販店の売上高は落ち込んだが、衣料品、宝飾品で上向き、増額となった。(県北地区)
小売業 (石油)	ガソリンの小売価格は1ℓあたり144円50銭で前月比1円、軽油は127円60銭で前月比40銭、配達灯油18ℓは1,618円で前月比59円とそれぞれ値を上げた。2月後半原油価格が上昇し、為替ルートはほぼ横ばいで原油コストによる値上がりとなった模様。
商店街	小売業は業種及び業者間で違いはあるものの総じて前年比マイナスで、収益確保が大変厳しい状況にある。(秋田市)
サービス業 (タクシー)	月の後半に比較的好天が続いたため、タクシー利用が少なく、運行回数及び運送収入は前年同月比でそれぞれ下回った。秋田交通圏(秋田市)では、初乗り額を600円(初乗り距離：1.2km)とする運賃改定を12年振りに実施したが、近距離利用者は増えたものの増収に繋がらなかった組合員もいるようだ。
建設業 (電気工事)	前年同月との比較では多少好転している模様。マイナス金利政策や消費増税による影響で一般住宅が増えていると思われる。ただし、物件材料等は大手ハウスメーカーが抑えているので、電材業界や電気工事店は横ばいの状況。(中央地区)
運輸業 (トラック)	2月は例年動きが良くない時期だが、前年より荷動きは良かった。2月の燃料価格は値上がりしているが、収益状況は増加傾向だった。(県南地区)

中小企業組合等支援施策情報

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

本年2月18日(月)から「平成30年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の公募が開始されたことに伴い、3月11日(月)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において「ものづくり補助金公募説明会」を開催し、66社が参加しました。

この補助金は、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等により生産性の向上を支援するもので、本会が秋田県地域事務局として申請受付を行います。今回の公募締切日は5月8日(水)となっておりますので、補助金の申請をお考えの方は、お早めの準備をお願いします。



[ものづくり補助金公募説明会]

- 公募締切 5月8日(水)当日消印有効
- 補助率 1/2~2/3
- 補助限度額
 - 一般型 1000万円
 - 小規模型 500万円
 ※一定条件を満たすことで増額あり
- 補助金の詳細は以下のURLをご覧ください。
<http://www.chuokai-akita.or.jp/30monozukuri/index.html>
- お問い合わせ
 ものづくり補助金秋田県地域事務局
 ☎018-874-9443

税務上の取扱い

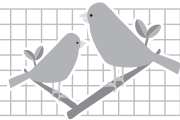
この補助金のうち、固定資産の取得に充てるための補助金については圧縮記帳等が認められますが、技術導入費、専門家経費等の固定資産の取得以外に充てられた部分の金額については、法人税法第42条及び所得税法第42条の規定を適用することができません。

組合相談コーナー

3月決算期の組合では、通常総会の開催準備に取りかかる時期となりました。今回は総会議決事項の一覧を掲載しますので、該当項目がございましたら忘れずに議案上程をお願いいたします。

		議決事項	中協法条文
法定議決事項	特別議決	①定款の変更	第53条
		②組合員の出資口数に係る限度の特例	
		③組合員の除名	
		④組合の解散又は合併	
		⑤事業の全部の譲渡	
		⑥役員(組合)に対する損害賠償責任限度額を超える責任の免除	
	普通議決	⑦新設合併の場合における設立委員の選任	第64条
		⑧規約及び共済規程の設定、変更又は廃止	第51条
		⑨毎事業年度の収支予算及び事業計画の設定又は変更	
		⑩経費の賦課及び徴収の方法	第9条の2第13項
		⑪団体協約の承認	
		⑫決算関係書類の承認	第40条第8項
		⑬役員(組合)の改選請求の同意	第42条
		⑭清算人の選任	第68条
は選任又は	⑮役員(理事及び監事)の選任	第35条第3項	
任意議決事項	普通議決	①借入金残高の最高限度	第51条・(定款)
		②1組合員に対する貸付け(手形の割引を含む)又は1組合員のためにする金融機関に対する債務保証の残高の最高限度	
		③組合員の事業に関する債務保証の残高の最高限度	
		④1組合員のためにする組合員の事業に関する債務保証の残高の最高限度	第36条の3第3項・(定款)
		⑤役員(組合)の報酬	
		⑥過怠金	第51条・(定款)
		⑦加入金	
		⑧剰余金の配当	
		⑨手数料・使用料	
		⑩その他理事会において必要と認められた事項	

※お問い合わせについては、事業振興部までお願いいたします。



中央会事業より

年度末における事務手続きを確認

～年度末事務セミナー～

多くの組合では、3月に決算期を迎え、決算書類の作成、通常総会開催の準備など、これから事務手続きの繁忙期を迎えます。

そこで、決算から総会終了後までの諸手続きについて理解を深め、適正な管理・運営を円滑に進められるように3月12日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において「年度末事務セミナー」を開催しました。

第一部では「組合の税務会計のポイント及び税制優遇措置の活用について」と題し、大坂税理士事務所の大坂良宏税理士からご講演いただきました。

講演では、組合に関する特別税制のほか、財務会計と税務会計の違いや交際費等の損金算入などについて事例を挙げながら詳しくご説明いただきました。



[大坂税理士]

▼協同組合の二つの配当

① 事業利用分量配当

利益の源泉が、組合員から徴収した手数料等が多額であったことに起因する場合、組合員が組合事業を利用した分量に応じて返還するもので、手数料や使用料などの過徴収の割戻しという性格があるため、損金算入が認められている。

② 出資配当

協同組合は、出資額の10%を超えて配当することはできない。

第二部では、本会職員より年度末事務手続きに関する一連の流れや留意事項について説明しました。

▼改元に伴う決算関係書類提出書や役員変更届の表紙に記載する年月日の表記について

書類の提出時期には、新元号が施行されており「〇〇元年〇月〇〇日」と記載して提出していただくこととなる。

▼今年5月に開催する通常総会の年度表記について

新元号が公表されていることから、「〇〇元年度通常総会」とするのが解りやすい。「平成31年度通常総会」と記載した書類の受理を拒否することはない。また、西暦で「2019年度通常総会」と表記しても構わない。



[事務セミナー受講の様子]

年度末における事務手続きについては、本号に同封する「組合決算期の事務手順一覧」をご参考いただき、ご不明な点がございましたら本会までお気軽にお問い合わせください。

支援団体活動レポート

平成31年度通常総会を開催

2月27日(水)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)の平成31年度通常総会が開催され、会員19名が出席しました。

総会では、平成30年度事業報告および収支決算のほか、全号議案が満場一致で承認・可決されました。平成31年度事業では、研修事業を計画しているほか、組合活性化のための情報提供、事務局職員同士の幅広い交流促進のための

～秋田県中小企業団体事務局協議会～

福利厚生事業等を通じて、会員間の連携を図っていくこととしています。



[挨拶する佐藤会長]

■富樫衆議院議員へ7項目を要望

3月6日(水)、本会藤澤会長(佐藤専務理事、畠山事務局長が同行)が東京都の衆議院会館を訪れ、富樫博之衆議院議員に対し、地方創生と中小企業・小規模事業者対策に関する7項目の要望書を提出しました。

要望内容

- 1 地方創生のための構造的改革の推進と支援の充実
- 2 再生可能エネルギーの導入拡大を加速するための環境整備
- 3 日本海沿岸東北自動車道、東北中央自動車道の早期全線開通及び県内高速道路における暫定2車線区間の4車線化に向けた整備
- 4 秋田新幹線の秋田・岩手県境における新トンネル整備の早期実現
- 5 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金の継続
- 6 事業承継税制の対象範囲の拡充

- 7 事業承継のための低金利かつ長期の融資制度の実現



[要望書提出の様子]

以上の要望に対して、富樫代議士からは「事業承継に関しては、税制改正により4月から個人事業者の相続税も法人同様になるなど積極的に進めており、更なる推進のために中小企業・小規模事業者の景況が好転するよう各要望項目についても積極的に取り組んでいきたい。」との回答をいただきました。

新理事長紹介

役員改選により、下記の方々が新理事長に選出されましたので、ご紹介します。

協同組合横手卸センター (横手市)
理事長 和泉 正之さん

組合員名：株式会社かねき
役職：代表取締役
改選日：平成31年2月22日

秋田県板金工業組合 (秋田市)
理事長 吉野 一雄さん

組合員名：吉野板金
役職：代表
改選日：平成31年2月26日

秋田県基礎工事業協同組合 (大仙市)
理事長 高橋 房孝さん

組合員名：株式会社秋田県南重機
役職：代表取締役
改選日：平成31年2月28日

－会員組合の皆様へ－

本コーナーでは、会員組合の理事長交代について紹介しております。新しい理事長が選出された場合は、本会総務企画課(☎018-863-8701)までお知らせください。

インフォメーション

中小企業組合検定試験合格者が発表 －本県より1名が合格－

昨年12月2日(日)、秋田市で行われた平成30年度中小企業組合検定試験(主催：全国中小企業団体中央会／後援：中小企業庁)の合格者が3月1日(金)に発表され、本県からは下記の方が合格されました。まことにおめでとうございます。

(敬称略)

石井 智之(秋田県中小企業団体中央会)

「中小企業組合検定試験」の詳細につきましては、本会商業振興課までお気軽にお問い合わせください。

働き方改革支援ハンドブック (2019年2月改訂版)について (厚生労働省・中小企業庁)

働き方改革を推進するための関係法律の整備する法律が4月より順次本格的に施行されること等を踏まえ、中小企業・小規模事業者をはじめとする皆様に働き方改革を一層推進いただけるよう、「働き方改革支援ハンドブック」の内容を充実、更新しました。ハンドブックについては以下のHPに掲載しておりますので、ご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000480602.pdf>

協会けんぽの保険料率が改定されます (協会けんぽ 秋田支部)

平成31年度の協会けんぽの健康保険料率及び介護保険料率に変更になります。

なお、保険料率の適用時期は、平成31年3月分(平成31年4月納付分)からとなります。

	現行	変更後
健康保険料率(秋田支部)	10.13%	10.14%
介護保険料率(全国一律)	1.57%	1.73%

※ 40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

※ 任意継続被保険者の方は、平成31年4月分(平成31年4月納付分)からとなります。

[お問い合わせ先]

全国健康保険協会(協会けんぽ)秋田支部
☎018-883-1800(代表)

「仕事休(やす)もつ化計画」 (秋田労働局)

今年のゴールデンウィークは10連休!
～休暇を加えて自分流バケーションも～

労働基準法が改正され、平成31年4月より、使用者は、法定の年次有給休暇日数が10日以上の全ての労働者に対し、毎年5日間、年次有給休暇を確実に取得させることが必要となりました。

◎労使一体となって、年次有給休暇の「計画的付与制度」を導入しましょう。

◎時間単位の年次有給休暇を活用しましょう。
[お問い合わせ先]

○年次有給休暇の取得促進について
秋田労働局雇用環境・均等室
☎018-862-6684

○年次有給休暇の制度について
各労働基準監督署

人事異動のお知らせ

【秋田県】(4月1日付)

産業労働部(商工関係)の転入出者は次のとおりです。

《転入》()は前職、〈 〉は派遣 敬称略

◎産業労働部

部長(企画振興部長) 妹尾 明
次長(財政課長) 猿田 和三
次長兼企業立地事務所長(産業集積課長) 出茂 正美
食品産業振興統括監兼観光文化スポーツ部次長
(鹿角地域振興局長) 畠山 勇人
参事兼公営企業課長 桜庭 規祥
産業技術センター上級主席研究員兼素形材開発部長
(産業技術センター素形材開発部長) 遠田 幸生
課長待遇兼秋田発電・工業用水道事務所長
(大館発電事務所長) 佐藤 繁

◎産業政策課

主幹(市町村課主幹) 高橋 源悦
副主幹(商業貿易課副主幹) 加藤 慶美
副主幹(高等教育支援室副主幹) 齊藤 勲信
副主幹(農業経済課副主幹) 吉田 和之
主事(総合県税事務所課税部主事) 高橋 寛幸

◎産業政策課 デジタルイノベーション戦略室

副主幹(デジタルイノベーション戦略室主査) 持田亜由子

◎地域産業振興課

主幹(地域産業振興課副主幹) 大森 慎也

主幹(あきた企業活性化センター)(東京事務所あきた売込み課主幹) 菊地 拓
主幹(産業政策課主幹) 佐々木 琢
副主幹(あきた企業活性化センター)(高等教育支援室副主幹) 高坂 聡
副主幹(産業集積課副主幹) 佐々木 功
副主幹(産業政策課副主幹) 高橋喜代孝
副主幹(地域産業振興課副主幹)(あきた企業活性化センター) 田口 香
副主幹(観光戦略課副主幹) 山内 雅絵
主査(あきた企業活性化センター)(産業技術センター素形材開発部研究員) 井上 真
主査(水産漁港課主査) 佐々木康人
主査(秋田大学)(平鹿地域振興局総務企画部主査) 橋本 誠
主事(総合県税事務所平鹿支所主事) 浅井未依子

◎地域産業振興課 輸送機産業振興室

副主幹(移住・定住促進課副主幹) 金湖 信之
主任(輸送機産業振興室主事) 畠山 茂久
主事(東京事務所総務企画課主事) 杉沼 慶

◎産業集積課

課長(教育庁総務課長) 今川 聡
副主幹(地域産業振興課副主幹) 小柳 秀隆
主査(地域産業振興課主査) 柏谷 耕
主査(能代港湾事務所主査) 寺山 大輔

◎商業貿易課

課長(由利地域振興局総務企画部長兼地域防災監) 安藤 雅之
 主幹(山本地域振興局総務企画部地域企画課長) 土門 啓介
 副主幹(秋田港湾事務所副主幹) 高橋 正人
 主査(総合県税事務所課税部主査) 木村 裕介
 主査(国保・医療指導室主査) 松嶋 亜紀

◎資源エネルギー産業課

主幹(資源エネルギー産業課副主幹) 桜田慎一郎
 主幹(資源エネルギー産業課副主幹) 辻田 豊英
 主査(名古屋事務所主査) 佐藤 直彦
 主任(大館発電事務所技師) 工藤 優
 主任(資源エネルギー産業課技師) 鎗目 隼平

◎雇用労働政策課

主幹(産業集積課主幹) 佐藤 寿之
 主幹(被災者受入支援室主幹) 渡辺 美伸
 主任(県民生活課主任) 大塚 智哉
 主事(文化振興課主事) 原田 えりな

《転出》 〈 〉は派遣 敬称略

◎産業労働部

東京事務所長 水澤 聡
 平鹿地域振興局長 石川 聡
 労働委員会事務局長 兼子 達弘

◎産業政策課

総務課政策監 仲村 陽子
 医務薬事課副主幹(秋田県立病院機構) 工藤 元昭
 動物愛護センター主査 刀根 雅一
 自治研修所主査(自治大学校) 伴藤 崇

◎地域産業振興課

名古屋事務所長 土屋 和久
 秋田うまいもの販売課主幹 加藤 智
 農地整備課主幹 高山 好美
 会計課主幹 村上 寛
 市町村課副主幹 品田 聡
 議会事務局副主幹 白川 雅浩
 地域づくり推進課主査 嵯峨 直人
 教育委員会主任 植村 実知

◎地域産業振興課 輸送機産業振興室

建設政策課副主幹 山田 忠綱
 秋田地域振興局総務企画部主事 保坂 祐樹

◎産業集積課

山本地域振興局建設部副主幹 鷺谷 吉宣

◎商業貿易課

山本地域振興局総務企画部長兼地域防災監 岡崎 佳治
 文化振興課副主幹 安田 路子
 教育委員会副主幹 山崎 忍
 北秋田地域振興局総務企画部主事 菅原 悠

◎資源エネルギー産業課

秋田発電・工業用水道事務所主査 黒崎 亨
 名古屋事務所技師(トヨタ自動車) 工藤 陽太

◎雇用労働政策課

会計課主幹 諸井 忠道
 教育委員会主事 五十嵐なつみ

【株式会社商工組合中央金庫秋田支店】

(4月1日付)

()は前職 敬称略

《転入》

秋田支店長(融資第一部審査役) 高橋 大輔

《転出》

営業店サポート部参事役(秋田支店長) 奥田 峰利
 渋谷支店書記(秋田支店書記) 井坂 光希

【秋田県中小企業団体中央会】(4月1日付)

()は前職

◎総務企画部

部長(部長兼総務企画課長) 藤田 実
 総務企画課長(商業振興課長) 内藤 陽子
 総務企画課主査(工業振興課主査) 山本 繁広

◎事業振興部

商業振興課長(横手支所長) 芳賀 洋子
 横手支所長(総務企画課主査) 谷口千恵子
 工業振興課主任(総務企画課主任) 稲葉 健
 大館支所主任(大館支所主事) 藤野 孝輔



『改革・改善』

千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤 正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49

TEL 018(864)6200(代)

建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19

TEL 018(888)3666

URL：http://www.k-chiyoda.jp

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 本 多 秀 文

副理事長 谷 藤 健 二

” 太 田 博 之

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

秋田支店

〒010-0951

秋田市山王2丁目 1-43

☎018-896-1680



秋田ゼロックス株式会社

代表取締役会長 蒔苗 昭三郎

代表取締役副会長 辻 良之

代表取締役社長 吉田 進

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反 170-92

Tel:018-823-4645 Fax:018-823-7559



秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなど
あらゆるリクエストにお応えいたします。

HOTEL METROPOLITAN AKITA JR-EAST

〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1
TEL.018-831-2222
http://www.metro-akita.jp/

保険とリース、相続・事業承継のご相談はお気軽にどうぞ!!



保険&
リース

株式会社

北日本ベストサポート

URL <http://www.knbs.jp>

本社 〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町8番17号

TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

県南営業部 TEL.0187-66-3622

酒田支店

TEL.0234-75-3370

能代東支店 TEL.0185-58-2116

For Earth, For Life
Kubota

Hello, my Smile

陽菜 Smile
ハルナ



詳しい製品情報はこちらのQRコードから!

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600



秋田市民市場

akitashiminichiba.com

秋田駅から歩いて5分
秋田の食の玄関口

理事長
進藤 政弘

株式会社

八幡平貨物



一般区域貨物自動車運送
原木・木材の伐出及び仕入・販売

秋田県鹿角市八幡平字谷内下毛平116-12
TEL 0186-34-2011
FAX 0186-34-2013

- 経済面は業界の市場調査や企業の研究に
- 統計資料は企画書の基礎資料に
- 人事・お悔やみ・周年情報はお客様への素早い対応に

秋田新報

ご購入のお申し込みは「さがし電子版」で簡単手続き →

企業・団体様向けの記事検索サービス「さがしデータベース」もあります。



2019
4
Apr

中小企業あきた

平成31年4月1日発行 (毎月1日発行) 第707号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎ 018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円